

サマーセミナーを通して

短期大学1年 篠田 茉音

私はこのサマーセミナーを通して強く感じたことがあります。それはお互いの文化や習慣、価値観を理解し合って生活することの大切さです。マレーシアは多民族国家であるため、マレー系をはじめ中国系、ヨーロッパ系、多くの民族が暮らしています。実際にマレーシアで出来た友達も親の民族がそれぞれ違ったり、食文化や習慣が違ったり、沢山の言語が話せたりしていました。急に話す言語が切り替わる瞬間には何回も感心しました。こうして多くの決まりがある中でお互い助け合って過ごしているマレーシアは素晴らしい場所だなと感じました。このサマーセミナーに参加する前に、自分である目標をたてていました。それは自ら沢山英語を使って友達を作ることです。私は人見知りをしないので自ら話しかけることは得意です。でも日本語以外の言語となるとどうしても言葉の壁を感じてしまい、中々話しかけることができませんでした。そのため、このサマーセミナーでは自分から英語を使うことを意識しました。ジェスチャーや単語を繋ぎ合わせて伝えることができました。友達や店員さんはとても優しく、何回聞き返しても丁寧に教えてくれ、理解しようとしてくれました。そして最後の方には、自分の耳も少しずつ慣れていき、英語を話すことを恐れることなく話しかけることが出来ました。やはり言葉の壁は、伝える意思で壊せる物なのだなと改めて感じました。同時に、もっと様々な言語が話せたらコミュニケーションが取りやすいのに、と感じる場面も多々ありました。いつかマレーシアに戻る時には友達に伝えたいことを伝えられるようにさらに勉強を頑張ろうと思いました。



2週間という短い時間の中で、入院を経験しました。私はこの出来事を貴重な体験だと感じています。みんなと会えない時間は本当に寂しかったです。でも看護師さんとても優しくお掃除の方とも仲良くなりました。タン先生をはじめUTARや国際教育センターの先生方には本当にお世話になりました。マレーシアでは気軽に話しかけてくれる人が多かったです。忘れられない思い出になりました。マレーシアではスパイシーな食べ物が多

くて日本食が恋しくなりましたが、みんなと食べる料理は美味しかったです。また、ヘナタトゥーや、バティック作り等、マレーシアの文化に触れることが出来ました。この2週間、様々なことがありましたが、とても濃い時間になりました。みんなサマーセミナーを通してできた家族です。関わってくださったすべての方々に感謝したいです。

